

中部ブロック クリーンハイク報告

ハイジアルペンクラブ 遠藤

日付：令和8年6月7日 場所：小川町、官ノ倉山

参加：大宮勤労者山岳会 11名、日進山岳会 5名、浦和くまざさ山岳会 5名、指扇山の会 1名、北本山の会 1名、ハイジアルペンクラブ 1名 計 24名

令和8年の中部ブロッククリーンハイクは、小川町にある官ノ倉山で実施しました。コースとして、A班はバスにて東秩父村役場前まで移動、奥沢神社から取り付き、石尊宮、臼入山を経て官ノ倉山へ至るコース。B班はJR竹沢駅まで移動した後、白鳥神社の先まで一般道を歩いて、途中から稜線に取り付き、A班に合流するというものです。

B班について報告します。竹沢駅から一般道をひたすら歩きます。一般道にもゴミが多少ありますが、拾うのは登山道に入ってからと、過ぎ去ります。一般道から登山道に取り付く地点付近に、鹿が現れます。最初は木の枝にからまっているように見えたが、よく見ると罾にかかっている模様。気の毒に思いましたが、地元民の立場もあることから静観することにしました。しかしながら、地図に表示される登山道が見当たらず、このまま一般道を進むも、取り付きと思われる登山道は荒廃しており、歩くのは危険と判断し、そのまま一般道を歩き、峠まで至りました（古い地図では一般道が峠まで至っていませんでした）。

ここで、A班を待つとともに、ここが合流予定点ではないことから、A班を迎えに行くことにし、臼入山付近にてA班と合流、そのまま峠にて全員が集合しました。ここからは登山道ではありますが、営林署の作業道でもあるようで、業務用の廃棄物も目に付きました。あまり無理をせず、これらのゴミも回収しつつ、官ノ倉山に到着、ここで休憩と集合写真を撮りました。夕方から雨という予報もあり、行動を早めに切り上げるため交流会を省略し、石尊山を経て、小川町を目指すことにしました。

長い一般道歩きを経て、途中「晴雲酒造」にて小休止（日本酒の試飲、購入をした人も多くいました）のあと、小川町役場にてゴミをまとめて預かって頂きました。ゴミの量は可燃が2袋（約4kg）、不燃が1袋（約6kg）となりました。

最近、ゴミの回収を業者に委託しているという理由から、ゴミを引き取って頂けない自治体もある中、小川町の方には感謝です。一方で、クリーンハイクの意義から、ゴミを持ち帰るという方法も今後は考えていかなければならないかもしれません。

クリーンハイクの終了後、雨が降る前に各会では反省会（飲み会）へと行動を移して行きました（私は日進、指扇、北本の方々と川越の町へ繰り出しました）。

